

平成23年度埼玉県博物館連絡協議会 第2回地域チーフ館会議 会議録

【開催期日】平成24年2月22日（水） 14時00分～16時00分

【開催場所】埼玉県立歴史と民俗の博物館 会議室

【出席者】<各地域チーフ館>

南 部 小林 貞雄（埼玉県立近代美術館 副館長）
西 部 鈴木 秀雄（埼玉県立嵐山史跡の博物館 学芸主幹）
東・北部 藤田 宏之（埼玉県立川の博物館 研究交流部員）
秩 父 坂本 治（埼玉県立自然の博物館 専門員兼学芸員）

<事務局>

矢部 保雄（埼玉県立歴史と民俗の博物館 館長）
浅野 晴樹（同上 副館長）
井上 尚明（同上 主席学芸主幹）
二階堂 実（同上 学芸主幹）
山田 昌紀（同上 主任）
栗原 芳典（同上 主事）

【会議内容】

<議 題>

（1）各ブロックの活動報告について

- 南ブロック（近代美術館）
 - ・南部地域研修会を1月13日に実施。
 - ・年度内にもう1回研修会を開催する予定。
- 秩父ブロック（自然の博物館）
 - ・6月29日にブロック会議を行い事業計画などについて検討した。
 - ・スタンプラリーでプレゼントのTシャツについては、今年度は資金が足りなかったので次年度の実施を目指す。
 - ・各館の実情などの情報を共有することを目的にした編集会を開くことを計画している。
- 西部ブロック（嵐山史跡の博物館）
 - ・催し物案内を発行（各館にデータを送り、必要に応じて印刷して頒布する）
 - ・7月15日に埼玉博連との共催で前期研修会を川越市立博物館で開催。
 - ・3月28日に後期研修会を川越市立博物館で開催予定。
 - ・予算残額の13万円は繰越金とし、どう使うかを今後の課題とする。
詳細は別添資料を参照してください。

- 東・北部ブロック（川の博物館）
 - ・5月の連休に開催される行田の祭りに合わせてブースを出す予定だったが地震により計画を中止した。
 - ・東と北を結ぶようなスタンプラリーを計画、話し合いを行った。
景品や印刷物について、予算を含め来年度検討していく。
現在は各館に依頼したアンケートの回答待ちである。
 - ・研修会では春日部の大風会館の被害状況やレスキューボランティア・陸前高田市の被害状況の報告など防災に関連して行った。

（2）埼玉県博物館協議会への加盟促進について

- 未加入館一覧を更新
- 給食歴史館が23年度入会
平成23年7月13日入会届を提出、受理する。
- 鈴木酒造株式会社 酒造資料館が24年度入会
平成23年12月22日入会届を提出、24年度4月1日からの入会とする。
- 川口市と鳩ヶ谷市の合併により鳩ヶ谷市立郷土資料館が名称を変更
新名称は川口市立文化財センター分館郷土資料館となる。
- 長瀬総合博物館が退会
23年度一杯で退会する。
- 今後の加盟促進について
3月11日に開館するヤオコー川越美術館のような新館の加盟も促していく。

（3）資料保存研修会について

3月21日の13:00から15:00、当館講堂にて開催
講師はNPO 法人カビ相談センター理事長の高鳥浩介氏
演題は「カビの調査と環境の解析」
2月22日時点で30館から回答があり、27名が参加申し込み
研修会終了後に特別展「大名と藩」の見学を予定

（4）IT 運営委員会について

- 第1回 IT 運営委員会を昨年11月に、第2回 IT 運営委員会を2月に実施
- 埼玉県博物館連絡協議会ホームページについて
 - ・ホームページのデザインについては資料1ページ目のものに決定した。
 - ・「ようこそ 埼玉の博物館へ」というキャッチコピーを付ける。
 - ・埼玉県博物館連絡協議会の文字を小さくして右上に配置する。
 - ・リンクボタンなど細かい部分も調整していく予定で3月に更新する
 - ・各館の所蔵資料のデータベースページがあれば調査してリンクしていきたい。
 - ・各ブロック別活動のページでの活動紹介などをチーフ館に協力してもらいたい。
- 質疑応答
 - ・Q.学校給食歴史館と木の博物館木力館の画像が違うのでは？
A.事務局でも把握しており、修正する予定です。
 - ・Q.サーバは今まで通りか？
A.今まで通りのレンタルサーバを利用します。

(5) 来年度の事業計画について

- 来年度の役員館改選について
 - ・ 来年度は南部、秩父、東・北部はチーフ館が改選
 - ・ 来年度の東・北部ブロックのチーフ館は東から選出
 - ・ 西部は嵐山史跡の博物館が継続
 - ・ ブロックによって館数にバラつきがあるので見直しも必要では
- リスクマネジメントについて
 - ・ これからは IT よりリスクマネジメントが重視されるのでは
 - ・ 来年度事業としてリスクマネジメントを検討
今年度実施した被害状況アンケートや防災の研修などの流れをつなげていきたい。
また、加盟館園には危機管理マニュアルがないところも多いなど課題がある。
上記のことを踏まえ、事務局では埼博連で予算をもって委員会なり、研究会なりの立ち上げを検討したい。被害にあった場合の資料の運び出しやレスキューなど県外への持ち出しも含め、今後検討していかなければならない。
 - ・ 上記の事業については役員会でも提案し、承認されれば予算を含め活動を始めたい
- 川の博物館が進めているスタンプラリー事業について
 - ・ スタンプラリーで使用する小物は専用の物を作成するとなるとお金がかかるので、所有している場合にはぜひお借りしたい
 - ・ 何かを作成する時に継続・共有できるような物にすれば使用機会や用途の幅が広がる。
 - ・ 業者情報などはコストダウンにつながるので、積極的に共有していきたい

(6) その他

- IT 運営委員会について
 - ・ IT 運営委員会は外に出て活動しているので把握しにくい
来年度の IT の予定や事業などの情報を年度始めに教えてほしい
→ 整理して流していきたい
 - ・ ホームページの埼博連マップについて
マップをクリックしても各館に跳べるようにしたい
→ そうしたギミックの追加にはお金がまた別にかかるので、今後の更なる充実化の中で考えていきたい。
 - ・ 埼博連ホームページに埼玉の博物館が現在どのような特別展やイベントを開催しているか見えるようにしてはどうか？
→ イベントや特別展情報の収集や更新作業をどうやって実施していくか課題が多い。
形骸化も懸念されるので次年度以降 IT 運営委員会で話し合っていく。
 - ・ 新しい情報について
ホームページの新着情報に載せていく
新着情報をクリックすると詳細ページへ跳べるリンクが張られている